

憲法・教育の今と 沖縄の未来



前川喜平氏プロフィール

1955年奈良県生まれ。1979年文科省（入省）大臣官房総括審議官、官房長、初等中等教育局長、文化科学審議官などを経て、2016年文部科学事務次官に就任。2017年退官。加計学園による獣医学部新設は「総理の意向」だとする文書の内容を証言。現在、自主夜間中学のスタッフとして活動。著作『面従腹背』等

沖縄に基地を押しつけ、戦争のできる国を目指す安倍政権は、憲法改悪へのめりになっています。教育では、道徳の教科書が登場するなど、戦争する国のための人づくりが始まっています。私たちは今、自分の国の未来を大きく変えてしまう選択を迫られています。森友・加計問題を皮切りに、教育委員会や教科書採択の制度改正など、国が進める「教育改革」の意味を、文科省の中核に在職した前川喜平さんにお話ししていただきます。是非、ご参加ください。

前川喜平 さんが語る

2019/4/1 月
琉球新報ホール

那覇市泉崎 1-10-3 (098-865-5255)

- 開場 / 16:00
- 開演 / 16:30 ~ 19:30

I部 講演 前川 喜平氏

II部 トークセッション

- 前川 喜平氏
- 高里 鈴代氏 「基地・軍隊を許さない行動する女たちの会」代表
- 長堂登志子氏 「沖縄県民間教育研究所」所長

2019/4/2 火
南風原中央公民館

南風原町字喜屋武 236 (098-889-0568)

- 開場 / 16:00
- 開演 / 16:30 ~ 19:30

I部 講演 前川 喜平氏

II部 トークセッション

- 前川 喜平氏
- 与那覇恵子氏 名桜大学教授
- 屋良 朝博氏 ジャーナリスト

入場料

一般 / 1,000 円
※当日券はありません

問合せ・前売券予約はお電話で
▶ 090-1818-8129 (小林)

▶ 090-6860-6901 (平田)
▶ 090-1084-3004 (長堂)

【共催】 基地・原発・憲法を考える推進ネットワーク・沖縄県民間教育研究所・はえばる 9 条の会【協力団体】 沖縄自主上映会促進ネットワーク / 沖縄県民間教育研究所 / 沖縄県民間教育研究団体連絡会 / わんから市民の会 / 社会連帯機構沖縄県本部 / 新日本婦人の会 / 基地・軍隊を許さない行動する女たちの会 / 沖縄詩人会議 / コープ沖縄 / 沖教組那覇支部 / 一坪反戦地主会 / おきなわ住民自治研究所 / 糸満九条の会 / 小禄九条の会 / 佐喜真美術館 / 沖縄医療生活協同組合 / 平和委員会 / 東アジア協同体研究所 琉球・沖縄センター / 普天間居所作りプロジェクト【後援】 琉球新報社 / 沖縄タイムス社

基地・原発・憲法を考える推進ネットワークの

思い

基地と原発問題は現政権の最悪の国策であり、あらゆる政策は基地と原発を抜きにして解決出来ないところまで来ていると思われます。基地は沖縄だけの問題ではありません。同じく原発も福島だけの問題ではありません。基地と原発は日本だけの問題でもなく、世界の問題である事を認識する必要があります。

2012年12月第二次安倍政権が発足以来、丸6年を経て長期的ファシズム体制を維持していることを考えますと、今年7月の参議院選での結果次第では、今まで以上に強硬な手段で憲法改正に取り組むことが予想されます。私達は政治的な解決に委ねることも大事ではありますが、市民活動における文化的な発信を通して、「基地・原発・憲法」の3大テーマの問題点を考えることは、私たちの生活の実態を知ることであり、政治、経済、教育、福祉、防衛、外交等々あらゆる社会問題を考えることであり、

防衛予算を増やす代わりに福祉や教育予算を減少させるような政治、福島の放射線被害が解決しているかのような嘘情報を流す政治、大企業の税制を優遇し、貧困層へ消費税増税の負担をさせるような政治を許してはならないと思います。

基地の存在そのものの事実、原発がどうなっているのかの真実、国民主権で守られている憲法の重要性を考えることが大事ではないでしょうか。

多種多様な活動をされておられる方々と知恵を結集し、多くの活動体の点と点を結ぶネットワークを構築することにより、基地・原発・憲法を考えることが一体となった新しい市民連合的な運動に繋がることが出来たら、あらゆる平和的な活動を共有しながら皆さんで考える場が出来たら、良いと思っています。

(文責 基地・原発・憲法を考える推進ネットワーク事務局)

「基地・原発・憲法を考える推進ネットワーク」今後の企画

「基地と原発」写真展

2019/4/1(月)-10(水)
琉球新報社ギャラリー

●原発

飛田晋秀氏(福島県三春町在住)3.11後「事故を風化させない」「事故後の状況をありのままに知ってほしい」との思いから「福島のすがた ~3.11で止まった町」の写真集を出版。精力的に全国で写真展の巡回展を開催している。

●基地

國吉和夫氏、小橋川共男氏、比嘉豊光氏、大城弘明氏、豊里友行氏等による沖縄の歴史的闘争の数々と辺野古、高江の悲しい現実を写し出す。基地と原発の実情を見ることが出来る沖縄開催初めての写真展です。

「日本会議の野望～ 私たちをどこに連れていくのか！」

講師:俵 義文氏 子どもと教科書全国ネット 21 代表委員

出版労連教科書対策部長、教科書検定訴訟を支援する全国連絡会常任委員など歴任、『日本会議の全貌』『日本会議の野望』執筆者

2019/4/6(土)
うるま市喜仲公民館
TEL 098-979-0503
17:30 開場 18:00 開始～(資料代500円)

2019/4/7(日)
沖縄市産業交流センター
TEL 098-929-1166
13:30 開場 14:00 開始～(資料代500円)

問合せ先・予約先はこちら

- ▶ 090-1818-8129 (小林嘉則)
- ▶ 090-1084-3004 (長堂登志子)
- ▶ 090-3790-7603 (大城松健)
- ▶ 090-6860-6901 (平田善之)

藤原 健氏 講演会 「ジャーナリストの魂を求めて」

2019/4/27(土) 糸満長谷寺
14:00～
TEL 098-852-3533

元毎日新聞大阪本社編集局長、現在琉球新報社客員編集委員として「おきなわ巡考記」を執筆。沖縄の、県民の怒りを訴えるジャーナリスト。新著作「魂(マブイ)の新聞」琉球新報社発行。

中村敦夫の一人朗読芝居 「線量計が鳴る」 全会場 18:00～

2019/5/23(木) 那覇市桜坂劇場
2019/5/24(金) 北谷町ニライカナイホール
2019/5/25(土) 名護市民会館

●沖縄が復帰した1972年「木枯し紋次郎」で一世を風靡し、その後ニュースキャスターとして世界を飛び回り、参議院議員として環境問題に取り組んだ熱血の俳優が再び原発の実情に目を向けて告発する。魂の叫び。